

湿原維持のために地下水位を上昇させたい！

米地区の水源地を守ろう！ 湿原再生プロジェクト

団体名 鮭川村自然保護委員会

主な活動地域 山形県最上郡鮭川村大字川口 米地区

目的

半世紀以上放置され、今や、稀少な動植物が生息する湿地となった米地区の休耕田の環境を守ろうと、2006年より保全活動を始めた。努力の甲斐あって自然観察に訪れる方も増えたが、長年放置されていたため、水路が浸食され、地下水位は大きく低下している。水路に土囊などを積み、水の流れを緩やかにして、地下水位を上昇させたい。それにより湿原としての機能を向上させ、さらなる動植物の復活を期待したい。

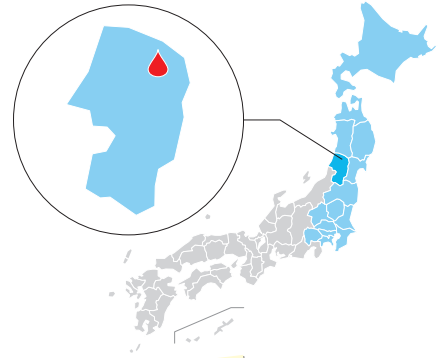
実施内容

2007年、TOTO水環境基金の助成を受けて、木道の設置を行うことが出来た。お陰で湿原を安心して散策できるようになり、来訪者もマスコミの取材も増えた。今回は湿地の陸地化を防ぎ、恒久的な湿原を維持するために、水の流れを緩やかにする工事と、浸食された水路のルート変更および底上げを、専門業者とボランティアで行う。陸地化してしまったところを浅い箇所、深い箇所、流れのある箇所など様々な状態に復元することで、そこに自生していたであろう植物と昆虫などを呼び戻し、生物の多様性を実現したい。湿原の下刈り、トンボ池の整備、自然観察会などは引き続き実施する。

選考委員のひとこと

下刈り後の葦を湿原から運び出す作業は、細い道のため人力で行うしかない。ぜひ、ボランティア参加を！湿原の稀少な動植物観察会を兼ねて、ぜひ！

TOTOインフォーム Fさん記



ボランティアに参加しよう！

- ★下刈り作業など 2008年10月
- ★地下水位上昇計画の資材搬入(残雪を利用して)・工事 2009年 4月
- ★遊歩道(木道)周辺環境整備 2009年 4月
- ★自然観察会 2009年 6月



2007年のTOTO水環境基金により完成した木道



葦を刈った湿原ではギボウシが満開に



湿原に水を引き込むことで水路の浸食を防ぎ、より豊かな湿原に